

camera view

●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。

●「広報つばめ」だけでは物足りないあなたへお送りする「Web版カメラびゅう」
https://www.city.tsubame.niigata.jp/keikaku/koho/2_1/index.html



●3月30日 磨き屋一番館
 「磨きの力」に
 さらなる磨きを！

磨き屋一番館で修了式と入校式を開催。3年間の課程を経て一人前の職人を目指す修了生と新たに磨きの道を選んだ入校生。それぞれの始まりにエールを送ります！



●3月21日 国上山
 国上山で春を
 楽しみました

国上山の山開きを迎えたこの日、「エコトレッキングツアー」が開催されました。参加者は、春の山野草を愛でながら、里山に訪れた春を感じていました。



●4月5日 分水駅
 春の風物詩
 桜をライトアップ

春といえば桜。今年も鮮やかに燕を桜色に染め上げました。また、夜桜ライトアップも開催され昼夜問わず多くの人々が足を止め、その美しさに酔いしれました。



●3月26日 地蔵堂保育園
 たくさんさんの思い出を
 ありがとう！

令和2年度で閉園となる地蔵堂保育園で閉園式が行われました。たくさんさんの友達や楽しい思い出ができた保育園に「ありがとう」と「さようなら」を伝えました。



●4月5日～18日 市内各所
 春の訪れ
 つばめ桜まつり

コロナ禍によりおいらん道中は中止になりましたが、市内各所でさくらフェスを開催。パフォーマンス集団「華やぎちんどん隊」がイベントを明るく盛り上げました。



●3月26日～31日 産業史料館
 春のわくわく
 クイズラリー

新潟経営大学のゼミ生が主催した、産業史料館に関するクイズラリー。館内の色々な所に配置されたクイズを解いて回り、最後はオリジナルグッズをプレゼント！



●4月6日 分水パステル保育園
 236人の園児が
 入園しました

分水地区の3園を統合して開園した分水パステル保育園で、初めての入園式。ピカピカの園舎で、笑ったり泣いたりしながら、元気に楽しく過ごしましょう！

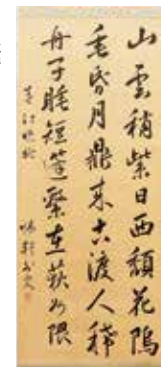


●3月28日 統合浄水場建設予定地
 新しい浄水場建設の
 安全を祈願

令和7年4月（予定）の供用開始に向けて、新しい浄水場の建設がスタート。現在の施設を統合し、災害に強く、おいしい水を安定的に供給できる浄水場を整備します。

今月の一品 「鈴木楊軒の詩幅」
 越北の鴻都長善館・二代目館主鈴木楊軒と多才な門人たち、
 長善館史料館 ☎0256・93・5400（月曜日休館）
 ■入館料 大人100円 高校生以下50円 ※団体割引あり

二代館主・鈴木楊軒は、長善館に15歳で入門し、初代館主・鈴木文臺に漢学を学んだ。数年間努力を積み重ねて文臺の補佐役として塾生の教育に当たり、34歳の時二代館主となった。楊軒は、新しい時代に即応した先進的な教育の必要性を唱え、漢学科の他に数学科と英語科を取り入れて画期的な新しいカリキュラムを導入。近代的な学校として多くの優秀な塾生たちが社会に巣立った。楊軒は教育者として多大な功績を残したが、人間性豊かな先生として塾生たちの模範ともなった。そんな楊軒の人物が偲ばれる漢詩が残されている。



一読み
 山雲稍紫にして日西に頽おれる
 花陽の垂は昏く月鼎來す
 古渡は人稀にして舟子は睡る
 短篷を繋いで秋の州隈に在り
 春江の晩眺 楊軒外史

（訳）
 山にかかっている雲が少し紫がかって、日は西にかたむいていて。堤防のほとりも暗くなって、月がちょうど昇ってきた。昔からの古い渡し場は舟に乗る人もめったにいないので、船頭は居眠りをしていて。
 （舟は）短いよしの覆いをかけて、萩が生えている中洲の（湾曲した）入り込んだところに（浮かんでいる）。
 春の川の夕暮れの眺め
 楊軒外史

100 大河津分水
 1922-2022
 大河津分水コララム
 次の100年に向けて「洗堰の動き」
 信濃川河川事務所 広報担当 平塚洋一郎さん

大河津分水では2つの堰によって信濃川と大河津分水路へ流す水量を調節しており、そのうち信濃川に流す水量を主に調節しているのが洗堰です。洗堰から信濃川には一定の水量を流しており、その量は1秒間に25メートルプール約1杯分。そのおかげで、枯渇の心配をすることなく、生活用水や農業用水などに利用できます。一方、洗堰より下流の信濃川や中ノ口川が増水している場合は洗堰のゲートを閉じ、上流から流れてくる洪水の全量をおおむね大河津分水路へと流し、氾濫を防ぎます。現在の洗堰は2代目で、平成12（2000）年5月29日に通水しました。昼間の雄姿も見ごたえがあるのですが、年に数回ライトアップされる日もあり「24時間にわたって私たちを守ってくれている」ことを実感させてくれます。



▶ライトアップの様子

下流側 上流側
 ◀令和元年の洪水の際の洗堰

地域おこし協力隊の奮闘日記 vol.38



こんにちは！スポーツ担当の久保です！
 関西から燕市へ移住して1年が経ちました。冬の積雪をなんとか乗り越え、やっと燕市での生活にも慣れてきました。
 わたしは写真を撮ることが好きで、この1年間「燕市」をたくさん撮影しました。春の桜の写真から始まり、田園風景、スポーツ、飲食店で食べたごはん、秋の紅葉、雪景色などなど。この写真は昨年8月に撮影しました！他にもいろいろな写真をInstagramに投稿していますのでよかったですら見てみてください（@tsubame_kubo）。
 地域おこし協力隊2年目の今年度は、昨年度よりもたくさん燕市のスポーツに関わり、もっともっと盛り上げられるように頑張っていますのでよろしくお祈りします！！
 Instagramはこちら▶



市内で撮影したお気に入りの1枚です！

燕市地域おこし協力隊
 久保 陽菜乃

